

人

三一

電〇〇九二三

作 機 〇

作戰緊急

● 總無線艦所用共通符號

● 海上護衛總部隊各尸▽・九三一空▽



● 大海參一部・聯合艦隊 第一航空艦隊 尸・支那方面艦隊 各尸

機密第〇一一九〇四番電

海護總電令作第三九九號

一、本日南西諸島ニ來襲セル敵機動部隊ハ更ニ西進ノ算ナシトセズ

二、佐領部隊ハ明日東京海北部ノ黎明飛行索敵ヲ實施シ同方面ノ護衛ヲ強化スベシ

三、AS一作戰部隊ハ明日中支沿岸東方ノ黎明飛行索敵(遠出距離約

三〇〇哩)ヲ實施シ同方面船團ノ側方警戒ヲ強化スルト共ニ敵情偵知

ニ努ムベシ

四、九〇一空ハ明日南支那海ノ飛行索敵ヲ特ニ強化スベシ

20. 3. 3-

031

至急

三 一 受信 二二二二二〇
譯始 二二二二二〇
譯了 二二二四七 電 〇〇五〇九

航作 概 〇



第一基地航空部隊戦闘概報着信監所

小祿航空基地

機密第〇一八九〇六番電

20. 8. 2*

一 明二日。區暗戒豫定一七〇度二〇〇度側程右六〇浬七三度二五〇浬
發進時刻〇六三〇

二 本日戦闘速報中イ卜滿滑走路被彈トアルヲ誘導路至近ニ彈着ニ改ム
三 敵機ハ一八三〇以後波形消滅セリ。

通六五三、 於十四(三八〇二五〇) 鹿屋 長尾(森 田)

十般航空隊の編成

三 二

受信〇〇六二七
譯始〇〇六三〇

譯了〇八〇〇 電〇〇六五四

航作本〇

緊急

一〇航空艦隊

一〇航空艦隊



海上護衛總隊。一、三、五、二各航空艦隊。支那方面艦隊。聯合艦隊。各鎮。各營。

機密第〇一一九三〇番電

20. 3. 24

第八基地航空部隊司令部第一號

第八基地航空部隊兵力部署左ノ通(區分、指揮官、兵力、主要任務ノ順)

第十一航空部隊本職直率第十一聯合航空隊

一、特攻隊及固有戰團機隊

練成

二、戰團機隊以テスル敵機

三、主トシテ我本土ニ來攻スル敵攻略部隊機動部隊擊滅

通八三三

呂一Bケ五(一)横通

石垣(金森)一

033

0041

第十二聯空部隊 第十二聯合航空隊司令官 第十二聯合航空隊任務第十
 一聯空部隊ニ同シ
 第十三聯空部隊 第十三聯合航空隊司令官 第十三聯合航空隊
 一特攻隊練成
 二我本土ニ來航スル敵攻略部隊撃滅。

人

三二

受信 〇〇八〇〇〇
譯始 〇〇九三〇〇

譯了 一一〇〇 電 〇〇七〇八

參作
本機

第一通信隊

南東方面部隊戰術報着信艦所

機密第 〇一一九五八番電

20, 3, 3

RX方面防備部隊戰術報第 四三五號 (二月二十六日 一 二八日)

二十六日 〇五〇〇 F 四 U 五機 〇六二〇 F 四 U 一二機 (モイラ) 岬ノ

〇〇度 四〇 籽附近銃爆撃 〇六二五及 〇七一〇 F 四 U 各二機 〇九〇〇 B

I 二五 七機偵察 Q B U 〇七二五 F 四 U 二機銃爆 二十七日 B X P 〇

五〇〇 F 四 U 二機偵察 二十八日 〇六三五 F 四 U 二機 〇七四五 B I 二五

九機宛ニテ偵察通過 〇九五〇 F 四 U 一二機「モイラ」時ノ三三〇度

四〇 籽附近爆撃 R X E 一七二五 F 四 U 二機銃爆撃 戰果被等ナシ

魚雷艇ノ行動ヲ見ズ。

034

八五六 呂二 B ラー (八九九五 KC) 四通放

田中 (堀田)

作

三二 緊急 受信開始 〇〇三三〇五 譯了 〇四一〇 電 〇〇五八二 作 概

五基地航空部隊戰圖概報着信艦所

ツゲガラオ航空基地

20. 3. 21

機密第 〇一二〇一五番電

戰圖概報 (三月一日)

一〇八三〇ヨリ一六三〇迄 P1三八、一一P1五一、二機主トシテ

飛行場各部銃爆撃鳩零機炎上

三可動零機一機

通七五四

品ニBラ一八(四七四二、五K)一五FGB放

渡邊(吉井)



三
受信〇〇三三八
譯了〇四五〇
電〇〇五七八
作
概



一六根戰團總務信務所・三南連隊各下

機密第〇二二〇二二番電

六五B戰團機密 一日

一〇五〇一三一三〇迄P1四〇 十機ワシレ地區銃撃戰果被害ナシ
ニタルハ出港〇七四〇驅逐艦一隻針路東其ノ他頗霧ノ爲不明
三午ロタイ發進針路北乃至西大型二三中型二三小型二計四人

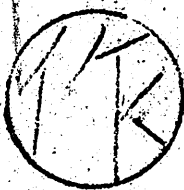
20. 3. 2.

一七八〇 呂一、ラ十八(六一二二二、五三〇)一一一連

齋藤(川口)

三二 受信 〇〇三〇〇 譯了 〇二〇〇 電 〇〇六七五 作 概

緊急



大 長 臣

海上護衛隊司令部。聯合艦隊司令部。第五航空艦隊司令部。支那方面艦隊司令部。

機密 第一二〇四一 番電 二分ノ一、二

佐領戰鬪概報 (三月一日)

一、三月一日〇七一五ヨリ一七一〇迄ニ敵艦載機悪石島以南ノ南西諸島各部ニ來襲主トシテ航空基地及船舶ヲ攻撃セリ
三、現在迄判明セル來襲狀況戰果及被害左ノ通

- (1) 來襲延機沖繩三七一奄美一六〇 宮古五三 石垣一二 喜界島二
- 六 北大東島二五 南太東島一三 其ノ他一〇合計六七〇機
- 通六八五、六九四 呂一B (四一九五C) 佐二放 佐藤、加藤 (兩 谷)

20. 3. 3-

(ロ) 戦果 墜一三以上 撃破二機以上

(ハ) 被害 戦死傷五名 飛行機炎上大破各一機 大信丸沈没

上 長白山丸被弾 機帆船炎上二隻。

關丸金山丸炎

(四)

人

三 工 受信〇〇四〇 譯了一三四〇 電〇〇七九九 作概〇。航本
譯始〇三一五

緊 急

作

鹿屋航空基地
串本航空基地派遣隊。宇佐航空隊
一機動基地航空部隊 作戰着信艦所

機密第〇一二一〇一番電

20. 3. 31

- 一 K P G B 信電令作第八〇號
- 二 本日一四五四頃油津附近敵艦上機侵入セシ疑アリ
- 三 〇五三〇以後第一警戒配備トナセ
- 三 戦闘機隊約半兵力ハ日出三〇分前發進鹿屋及宮崎地區上空警戒ヲ
實施スベシ鹿屋地區防空戦闘機隊指揮官ヲ第二〇三航空隊ニ宮崎
地區防空戦闘機隊指揮官ヲ第七八二航空隊司令ニ指定ス。

一 稟通註 本電誤字多ク電照ノ爲メ遅延ス

通七一五 呂一ケケ五 (五二〇〇) 佐通 牛島 (岩崎)

三二 受信一〇四七 譯了二一五〇 電〇〇七一
譯始一一二〇 航空艦隊 航作 本〇

緊急



聯合艦隊司令部 支那方面艦隊司令部 各鎮

機密第〇一二一一〇番電

第八基地航空部隊 令作第二號
當分ノ間第八基地航空部隊ノ警戒配備ハ特令スル場合ノ外警備管
鎮守府(警備府)又ハ方面艦隊ノ警戒配備ヲ專用各級指揮官ハ所
應ジ横宜警戒配備ヲ定ムベシ

通九二二 呂一五ヶ五 横通 半澤(三石)

20. 3. 3

03

人

三

二

受信 〇三五四二
譯始 〇三五三

譯了 〇三五八

電 〇〇五六六

作 概 〇

緊

急

●

共

付



● 沖繩方面部隊

機密 〇一三一四五番電

發 沖繩方面部隊指揮官

信電令作第一二號

敵機動部隊ハ明朝引續キ來襲ノ算大ナリ

明日 〇六〇〇以後第一警戒配備別法トナセ。

通七九九

於一四(四九一五)C(在二放

望月(吉田)

20. 3. 2.

人



作戰緊急

三二 受信一六五二

詳了 一七〇〇 電〇〇九〇七

航作 本機〇

◎ 新竹航空基地

◎ 臺灣航空隊

◎ 一航空艦隊司令部

機密 〇一 二一 四八 番

臺灣空軍令作第一號

一 本日沖繩方面敵KDBノ空襲アリ

明 日臺灣方面來襲ノ算大ナリ

三 明日〇六三〇以後第一警戒配備トナリ

三 狀況變化ナケレバ〇九三〇以後第三警戒配備トナリ

一 一七 才十四 (一三三四七、五七) G B A 清水 (木下)

20. 3. 33

至急

三二 受信 〇〇八一三五

譯了 〇九〇五

電 〇〇〇六七八七

作 概

東

通

高

通



發 高雄

宛 軍需

機密第	長	五三番電	分
課長	課長	課長	課長
課長	課長	課長	課長
課長	課長	課長	課長
課長	課長	課長	課長
課長	課長	課長	課長
課長	課長	課長	課長
課長	課長	課長	課長

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

舍全壊戦死准士官一名下士官二名書記一名雇傭人一五名戦傷士官
一、下士官一名雇傭人一七名生死不明雇傭人五名合計四三名書類等

ノ亡失毀損相當アル見込被害ノ詳細ハ目下調査中

二、軍需品ニハ被害ナシ補給作業ニ支障ナシ

三、驛舎ハ即日壽山トンネル内ニ移轉ヲ完了一同極メテ士氣旺盛復舊

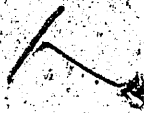
作業ニ邁進ナリ

通七〇七
七三九

呂一Bケ五(四七〇五KC) 高通

飯原 (川崎)

042復舊



三二 受信〇〇四七 譯了 三一五 電〇〇六四九 作 概〇
譯始 三〇〇

作戰特別緊急

小 崗 山 司 令 部

六三四航空隊



機密第〇一二二四〇番電

五 日 電 令 作 第 五 號

水爆隊ハ明二日左ニ依リ索敵ヲ實施スベシ

零式二機〇二三〇發進 〇二二一 (一〇〇度) 〇二二四 (一五度) 進出距離二〇〇測測程右二五測基點東港

通八二一 於

(三七八三五) (五〇〇) 清水 (土谷)

043

20. 3. 2.

停

作戰緊急

三二 受信開始 〇〇二五

譯了 〇一〇五 電 〇〇五九五

航作概本 〇

小崗山司令部

新竹、臺中、臺南、高雄、東港各航空基地

高 警

機密第 〇一二二四五番電

五 F G B 電令作第六號

明日各隊左ニ依リ作戰スベシ

一、夜戰隊月光三、〇三〇〇發進索敵攻撃 F T 一六(七五度) F T

一八(八五度) F T 二〇(九五度) 進出距離二四〇哩、程右

二〇 渥、基點高雄基地

三、水機隊零式水偵二機 〇二三〇發進 F T 一〇〇度 F T 二四

通七五二

才一四(三七八二) 五 KC 一五 F G B 放

富田(吉井)

0055

(一) 一五度一進出距離二〇〇哩側程右二五哩、基點東港
三等戰隊艦爆隊〇六三〇特攻待機
照其、他後令。

(2)

至急

三二一受信 一六三〇〇 譯了 二二三三〇 電〇一五一四 誅通

東印濠北濠洲方面資料着信艦所・高雄通信隊

機密第〇一二三三〇番電 二分ノ二

20. 3. 4-

發 第二十四通信隊司令

六哨戒機(六五〇〇K)

(イ)モロタイ系統七機「九TM」「RS六」「U五三」「六HS」

「六ES」「八RN/B及/C(七五九偵)」「爆撃機」

SIBAGO 島及「ドンガラ」爆撃)

(ロ)LM四H系一機「LK五S/」

三、本日ヨリ六五〇〇KG出系「モロタイ」「ニューギニヤ」方面航

空隊移動機ヲ除クヲ傍受ス。

通一一二六

呂一Bラ十八(一八三六七五KG)二一通 福岡(小川)

三二 受信開始 〇〇二一四四 譯丁 〇三三〇 電 〇〇五六九 作 概

緊急

小崗山司令部

五基地航空部隊戦闘概報着信監所



機密第 〇一二三三五 卷

五PGB 戦闘概報 (三月一日)

一 在臺灣部隊

(イ) 銀河一機 F1E1 七索一〇三三 發進セルモ 天候不良ノ爲 哨戒實施

セズ

(ロ) 零水一機 F1E1 三六索 〇一二三〇 發進 〇三五六 先端敵ヲ 探知セズ 復航

目視敵ヲ 見ズ

通七四九 呂一Bラ十八 (三七八二五 KC) 五PGB 放野木 (榛澤)

20. 3. 2

(イ)一式陸上輸送機二機零輸三機「ツゲガラオ」作戦輸送
ニ在菲島「ラプアン」部隊

(ロ)在「タバオ」天山一機「ドラダ」荷揚場爆撃効果不明
(ハ)其ノ他各指揮官所報

三二 信 〇〇三 〇三 〇五
開始 〇〇三 〇五
開丁 〇五 一〇 電 〇〇五 七九
作標 〇・航本

作戰要急

作

申本航空基地

軍令部・聯合艦隊司令部・五三各航空隊司令部。佐倉、横領

機密第〇一二三五五番電

電令作第ニ八號

一、(1) 本日前敵艦上機延約三〇〇機南西諸島。來襲敵機動部隊ノ位置ハ
ハ力ヲ示シ、後ノ情況不明

(2) 一〇〇以後一五三〇迄敵機發飛行艇ハ鳥島西方哨戒線ヲ五回ハ四
個所(一)ニリ搜索攻撃セリ

二、串本派遣隊飛行機ハ明二日左ニ依リ黎明索敵ヲ實施スルベシ。霧水
機潮岬ノ二〇五度乃至一五五度進出距離三〇〇哩。

運七九七 呂一五五(一) 横通

齋藤(川口)

04

20. 3. 2

作

三
二
受信開始 一〇〇三五
譯了 一〇四五
電 〇〇七〇二
作 〇
機 〇

佐領區敵情着信艦所

沖 大 東 見 張 所

機密第〇三〇一〇〇番電

20. 3. 31

一一五〇一〇一〇〇敵水上舷艇數隻ノ砲撃ヲ受ク被害大

通九〇九 於一二(九八三〇Kc) 佐二放 日高(高橋)

1900

三二 受信 〇〇五四〇五 譯了 〇六三〇 電 〇〇六三二 作 概
作戰緊急



佐 領 部 隊

佐

領

カ夕船團行動着信艦所、聯合艦隊口、吳鎮、鎮番、一護衛艦隊口、二五航戰
機密第〇二〇二二一番電

佐領信電令作第四三號

一〇一二五第五航空艦隊哨戒機ハ數島 奄美大島北西ノ附近ニ於テ敵

驅逐艦ラシキモノ發見夜間戦闘機ノ追跡ヲ受ク敵機動部隊東海ニ進
入ノ疑アリ今朝以來九州方面敵機來襲ノ算大ナリ

三〇六〇〇以後第一警戒配備トナセ

三船團ハ左ニ依リ行動セヨ

(イ)南西諸島方面ニ於テ避退中ノ船團ハ差當リ西方ニ向ケ午後敵情ニ
應ジ行動セヨ

通八三七

於十四

(B)

佐通

小野寺(川崎)

(一)

20. 3. 2

(四)九州西岸行動中ノ船舶ハ急速對馬
 (五)避退不徹底トナル虞アルモノハ極力防空ニ避退
 防方
 空面ニ避退
 防火ノ威力圈内ニ入レ。

人

三 二 受信 〇〇五三〇〇 譯了 〇六〇〇 電 〇〇六一七

航作 概本〇

作戰緊急

鹿屋航空基地



第一機動基地航空部隊戰機着信艦所
宇佐、筑城各空・串本航空基地

松山航空基地

機密第〇二〇二五三番電

JKFGB 信電令作第八一號

一〇一〇一〇 敵機動部隊第一群ノ位置「コイ一タ」當部隊ハ二日黎明

此ノ敵ヲ激撃撃滅セントス各部隊ハ左ニ依リ作戰スベシ

二七 終夜雷撃

三 五〇一 約一箇中隊黎明前特攻

四 七〇一 一部隊特攻日出三〇分前ヨリ即時待機

通八四〇 於一五(三八〇二、五K) 鹿屋 牛窪(吉田)

050

20. 3. 2.

三二 受信 ○六四五 譯了 ○六二五 電 ○〇六一八 作概 ○
譯始 ○六一五

作戰緊急

鹿屋空基地

一三航空艦隊

三航空艦隊 聯合艦隊各戸



機密第〇二〇三〇五番電

20. 3. 21

發 一 K F G B 參謀長

冠 三三四三司令

立 間 哨戒機ノ報告ニ依

レニ於テ探知セリ當部隊ハ二日黎明此ノ敵ヲ擊滅セントス貴隊戰鬥機隊
ハ概ネ佐伯附近豐後水道ニ於テ邀撃線ヲ構成セラレ度。

通八三一 於一四() () 佐通

券(イホ原)

人
多

三二
受信二〇五〇〇
譯始二二五〇〇
譯了二三四〇〇 電〇一〇九七 作機

● 南東方面部隊戰國機報發信歸所

秘密第〇二〇七四〇發電

R.N 方面部隊戰國機報第一五一號(三月一日)

R. 〇一二八一〇二二〇中程飛行機二機〇六五六一六〇二F四〇二機
計八機〇九〇〇一〇九二九B 25六機機並哨戒一四五二一七〇五B
I 34一機偵察〇七三二B 25二八機〇七三七同一機一〇〇七A 29一機
偵進一三四三B 34五機一四二五小型機一九機一四一五一キマタ
型機一機小型機一四機北西進 戰果被害ナシ

052

20. 3. 39

通一二五〇 呂二月ヲ十一(五一二五)C一八通

機海(田中)

人

三二 受信一七七八
〇 言丁一八一二
〇 〇 〇 九二二
作 根
〇



第五航空艦隊 (熊屋空)
第一航空艦隊

機密第〇二〇九〇九番

20. 3. 3-

宛 發 參謀長

ヤツブ第一飛行場ハ二十八日ヨリ増員ノ協力ヲ得テ急遽修理中ナルトコ
ロ連日敵機ノ來襲ニ備ミ作業ノ關係モアリ至急使用豫定期日機程等知ラ
サレ度。

海一〇二〇 呂一〇ラ一四 (八九九五〇) 四通 安田 (福田)

053



緊急
 三二 受信一七六一〇二 譯了一八〇〇 電報〇〇〇九一七六 航作本機〇

● 神ノ池航空基地

● 鹿屋航空基地

● 宮崎航空隊



機密第〇二二二一三番

二分ノ二二

第七二一航空隊

第七二一航空隊留置指揮官

第七二二空司令 七二二空副長

警備三基地(宇佐 高崎 都城派遣隊)ノ作戦基地緊急造成並協力

兵力ノ宿泊給養ヲ擔任シツツ作戰スルコトニ決定ラルル機密隊(全

一〇九五 呂一〇ケ五(七六〇五K)鹿屋 黒田・清水(木下)

20. 3. 3

部一及物件ハ緊急左之基地ニ進出トヨ
人員及物件

(ハ)本部及機關機關係通信科關係高

(ニ)陸攻關係宇佐

三必要ナル物件ノ外全部保轉タルモノトス但シ車輛ハ乗用自動車ニ

其ノ他自動車ニ側車附自動車ニテ高ニ輸送トヨ。



23

作

三二 受信一七二五 譯了一九五〇 電 〇〇一〇〇五七 作稿

父根 職報着信艦所

香取 空 基 地

父 根

機密第〇二一三〇一番電 二分、二二

職報 三月一日

一四四五B一二四 七機來襲野崎山北所麓三川灣口基地ニカケ數十發

投彈一七二七ヨリ約一時間ニ亘リ 戦艦聯合艦上機六機來襲ヤリ

照明彈投下ノ上 航空隊諸基地及飛行場周邊銃爆一八九三〇ヨリ二日

〇一三〇迄三次ニ亘リ 大型艦機ニテ

一 島外周海面ニ各機發投彈

二 戦美 六機一機ニ墜

三 戦艦 薩長島攻ニ爲一六〇五發進ナル彗星一機未歸還當茲地用可

通 一〇六九 一〇七八 呂一〇二〇〇Rc 父道

ラ一八

村田 (河田)

20. 3. 3.

W
人



三三
譯
始信 一五二七 譯 丁一七〇〇 電 〇一四九八 作 概

● 二十 二 根 P

● 二十三根戰團概報着信繼所

機密第〇二一四一五番電

二KB戰團概報 三月二日

一、一三〇ヨリ一二〇〇迄B一三四機P一三八敵機數編隊ニ

テ逐次バリツクババン第一第二飛行場ニ投彈ノ上傳單散布

P一三八ハバリツクババン上空ニ侵入零戦地上炮火協力之ヲ撃退

二、戦果 撃破二機

三、被害 第一第二飛行場被彈目下調査中其ノ他僅少。

通一七一三

協作 一八三六七五K(二一通 中山)小川)

20. 3. 4

9

作

三二 受信一八三七 譯了二一〇〇 電〇一一九三。作概

- 東通 ● 聯合艦隊 佐 領
- 各領各營・沖根P・五航空艦隊 支那方面艦隊

機密第〇二一四五四番電 二分、一

宛 大臣 總長 海上護衛總司令部

現在迄ニ判明ナル三月一日敵機動部隊兩面諸島來襲時綜合戦果及被害
左ノ通

一 戦果 墜二六機 破九機

二 被害 (A) 人員戦死一〇五名

(B) 飛行機 磁探機炎上二機大破 (古仁屋基地) 九七式艦攻一機彗星

二機炎上 (小祿基地)。(電信課註 本電二分、二未着)
通一一七八 呂一七ケ五(B) 佐通 徳永(河田)

057

三
三二 受信一七〇五
三三 開始一九一〇五
講了〇九四五
電〇一三三七
作概〇



東京通信隊
聯合艦隊口・一一根

一〇方面艦隊口

三一〇二九

20. 3. 4

058

宛 軍務局長 大海參一部長

通報 威難

現情勢ニ於テハブルネー泊地ハ我方ノ使用見込ナク陸軍部隊モ引揚
グツツアル現状ニ付一〇特根ブルネー派遣隊ハ一部ヲ殘シマライ方面
ニ轉進セシムルコトトス。

通一―二二二

協作 (二七五九〇) 通

野村 (細川)

秀人

三
二
受信一九三八
開始二〇二〇
譯了二二〇〇
電〇〇一〇七三
作
備

機雷部隊

海護總口・大海第一隊・聯合艦隊口・鎮海警備隊・沖繩根
九五空・佐防備隊・大島防備隊・石垣島警備隊・宮古島警備隊
四海上護衛隊

機密第〇二一四五六番電
二分ノ二

佐領電令作第四五號

一 機雷部隊指揮官、大島輸送隊ニ怒和島ノ現任務終了後左ノ設置
ヲ計畫實施スベシ

(イ) G E B 計畫ニ依ル東海第七機雷地構成

(ロ) 兩西諸島對水上艦船機雷ヲ設置シ細目ニ關シテハ沖根司令官

通一三〇九
天二Bケ六ハB
佐通
今村・田中・上野

ト協議ノ上計畫實施スルモノトス

(一) 三月上中旬宮古島次ヲ石垣島周邊九三式機雷各約三〇〇個

(二) 三月下旬伊江島及キカイ島周邊ノ假稱對潜小型機雷各五〇〇

個

(三) 右終了後奄美大島周邊ノ九三式機雷約五〇〇個

三三月五日以後特令アル迄五八噸潛艇ヲ機雷部隊ニ編入ス。

手
人

三
二
一
受信
開始
〇九〇二五
〇〇〇
譯了
〇九二八
〇一三六八
編作
政概
〇

横防戰、横須賀軍需部

東、通

横、銀

機密 〇二一五 一五 露

20. 3. 4.

通報 電信課 聯合艦隊司令部 海上護衛總司令部
横領實令作總五八號

一 横須賀防備戰隊司令部官ハ八丈島泊地、神湊八重根ドウワザワ防備
爲對潛用機雷敷設スベシ

二 横須賀海軍軍需部長ハ對潛機雷二五〇ヲ急速整備スベシ。

一四一五五 天二日() 横通 吉田(七谷)